

RRA22 : Security & Human Rights

当社工場の警備業務では、法令および人権を尊重し、警備従事者による差別、威圧的言動、不必要な身体拘束、過剰な監視、個人情報の不適切な取扱い等の人権侵害を防止します。

1. 評価対象

対象部門：安全環境センター 警備担当

警備業務の主な内容：立哨、巡回、電話対応 等

来訪者・関係者：工場従業員、顧客、運転手、地域住民、NGO、環境・人権保護団体 等

2. リスク評価の方法

頻度：年1回（および運用変更時）

実施：安全環境センターが主担当となり、警備責任者・現場関係者へのヒアリング、巡回・入退門等の運用記録、苦情受付状況、インシデント記録を確認し評価

結果の扱い：リスクを重要度（高・中・低）で整理し、重要度の高いテーマから行動計画を策定・管理

3. 主な人権リスク

- 1)差別・ハラスメント：来訪者に対する差別的対応や不適切な言動、抗議活動・街宣活動への威圧的言動や不当な武力的行動
- 2)プライバシー・自由の侵害：地域住民や外部関係者に対する過剰な監視、不必要な個人情報の収集・記録
- 3)過剰な拘束・威圧：工場周辺での不当な拘束、脅迫的言動、正当な抗議活動や意見表明への不適切な対応
- 4)地域社会との摩擦：警備活動が地域住民の生活や安全に悪影響を及ぼすこと

リスク	行動計画	KPI	進捗
差別・ハラスメント	来訪者への人権尊重を重んじ、差別的対応とせず、高圧的にならず、親切丁寧に対応するという来訪者対応に関する手順書の整備、教育を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育受講率100%</li> <li>・年に一度の教育実施</li> <li>・警備対応に関する苦情：0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年8月12日、13日教育実施し、各受講者の理解度を評価した</li> <li>・警備対応に関する苦情：0件（2025年度）</li> </ul>
プライバシー・自由の侵害	来訪者への不必要な監視や個人情報の収集・記録の制限	来訪者カードの手順通りの処理：100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手順逸脱0件（2025年度 月ごとの東予工場への引き渡しを実施を確認）</li> </ul>
過剰な拘束・威圧	工場周辺での不当な拘束、脅迫的な言動の禁止、正当な抗議活動や意見表明への対応に関する外部団体対応の手順書への明記及び教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育受講率100%</li> <li>・年に一度の教育実施</li> <li>・身体接触を伴う対応：0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年8月12日、13日教育実施し、各受講者の理解度を評価した</li> <li>・身体接触を伴う対応0件：0件（2025年度）</li> </ul>
地域社会との摩擦	地域住民からの問合せ・苦情の受付（外部も利用可）、改善につなげる仕組みを整備。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部窓口の明示（総務センター対応）</li> <li>・警備対応に関する苦情：0件</li> </ul>	警備対応に関する苦情：0件（2025年度）